

提案趣旨説明書

〈作品タイトル〉

東屋のある広場 ～屋根の集まりに人が集まるにぎわい交流スペース～

〈提案の趣旨〉

広場や公園にある屋根と柱で構成された「東屋」は、誰でも気兼ねなく使える自由な空間の象徴です。この建物は、色々な大きさや高さの屋根を平面上につなぎ合わせた複数の東屋で構成されています。その多くは半屋外的空間で、屋根の下にはテーブルや椅子を設置し、ランチをしたり読書をしたり、色々な人たちが集い、思い思いに過ごせるような設えとしています。

屋内的な空間としては、市民が気兼ねなく利用できるカフェと、市民に開放されたチャレンジスペース（料理教室やギャラリー、短期的な店舗運営などを想定）があり、チャレンジスペースでは今後の街づくりに関するワークショップやミーティングを積極的に行うことで、本施設に訪れた人々へ街づくりへの関心と参画を促します。こうした日常的なにぎわいだけではなく、多目的交流拠点（アリーナ）とも連携し、半屋外的空間と目の前の広場とを一体的に利用したイベント（フリーマーケットやマルシェなど）により、一時的なにぎわいも創出します。

本施設は、街づくりに興味のある人たちと新たにチームを組むことによる運営を想定しています。カフェの飲食代やチャレンジスペース、フリーマーケット、マルシェなどの利用料の一部を施設運営費に充てることでチームが施設と広場を一体的に管理していきます。また、市民やステークホルダー、行政、つかう meet,とも連携し、共創の街づくりの拠点として機能することで、本施設だけではなく街全体の活性化につなげていくことを想定しています。